



2020年2月20日

各位

会社名株式会社 T A T E R U
代表者名 代表取締役 CEO 古木 大咲
(コード番号: 1435 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 CFO 高杉 雄介
(TEL. 03-6447-0651)

〔訂正・数値データ訂正〕「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社が、2020年2月13日に公表しました「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後、連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書及び個別財務諸表の一部に誤りがあることが判明しましたので、これを訂正いたします。

なお、連結損益への影響はございません。

2. 訂正の内容

(サマリー情報) 1. 2019年12月期の連結業績(2019年1月1日～2019年12月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	△5,173	273	△723	6,370
2018年12月期	△6,668	△2,016	10,792	11,993

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年12月期	△5,173	<u>△326</u>	△723	<u>5,770</u>
2018年12月期	△6,668	△2,016	10,792	11,993

(サマリー情報) (参考) 個別業績の概要

2019年12月期の個別業績 (2019年1月1日~2019年12月31日)

【訂正前】

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	17,806	△77.0	△9,077	—	△9,235	—	△14,109	—
2018年12月期	77,391	16.4	312	△94.9	298	△95.0	837	△78.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期	△158.31	—
2018年12月期	9.89	9.09

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	12,719	8,660	68.1	96.04
2018年12月期	31,714	22,748	71.7	256.25

(参考) 自己資本 2019年12月期 8,659百万円 2018年12月期 22,746百万円

【訂正後】

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期	17,806	△77.0	△9,077	—	△9,235	—	△14,243	—
2018年12月期	77,391	16.4	312	△94.9	298	△95.0	837	△78.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期	△159.82	—
2018年12月期	9.89	9.09

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期	12,719	8,526	67.0	94.55
2018年12月期	31,714	22,748	71.7	256.25

(参考) 自己資本 2019年12月期 8,525百万円 2018年12月期 22,746百万円

<添付資料 3ページ>

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ56億23百万円減少し、63億70百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億73百万円の収入（前連結会計年度は20億16百万円の支出）となりました。これは投資有価証券の売却による収入10億32百万円、関係会社株式売却による収入4億0百万円の増加要因があった一方、有形固定資産の取得による支出7億72百万円、クラウドファンディング預り金の増減額2億59百万円、無形固定資産の取得による支出1億51百万円の減少要因があったことによるものであります。

【訂正後】

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ62億23百万円減少し、57億70百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億26百万円の支出（前連結会計年度は20億16百万円の支出）となりました。これは投資有価証券の売却による収入10億32百万円、関係会社株式売却による収入4億0百万円の増加要因があった一方、有形固定資産の取得による支出7億72百万円、定期預金の預入による支出6億円、クラウドファンディング預り金の増減額2億59百万円の減少要因があったことによるものであります。

<添付資料 5ページ>

(1) 連結貸借対照表

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
建物	420,240	41,924
減価償却累計額	△51,564	△1,984
建物（純額）	368,675	39,940
車両運搬具	67,271	-
減価償却累計額	△48,578	-
車両運搬具（純額）	18,692	-
土地	559,544	-
建設仮勘定	3,156	-
その他	170,423	-
減価償却累計額	△127,339	-
その他（純額）	43,084	-
有形固定資産合計	993,154	39,940

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当連結会計年度 (2019年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
建物	420,240	82,704
減価償却累計額	△51,564	△42,764
建物（純額）	368,675	39,940
車両運搬具	67,271	13,698
減価償却累計額	△48,578	△13,698
車両運搬具（純額）	18,692	-
土地	559,544	-
建設仮勘定	3,156	-
その他	170,423	97,898
減価償却累計額	△127,339	△97,898
その他（純額）	43,084	-
有形固定資産合計	993,154	39,940

<添付資料 12ページ>

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,016,989	273,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,172	903
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,105,493	△5,623,175
現金及び現金同等物の期首残高	9,888,330	11,993,824
現金及び現金同等物の期末残高	11,993,824	6,370,649

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	当連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	二	△600,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,016,989	△326,768
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,172	903
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,105,493	△6,223,175
現金及び現金同等物の期首残高	9,888,330	11,993,824
現金及び現金同等物の期末残高	11,993,824	5,770,649

以上